審議会等名	第6回 川西市行財政改革審議会		
事務局 (担当課)	企画財政部 政策室 内線(2111)		
開催日時	平成19年10月11日(木) 17時30分～18時27分		
開催場所	川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	新川 達郎 細井 雅代 市村 和雄 大久保 裕晴 草留 愛 西田 幸代 西村 謙之助 四谷 勲 北谷 匡司	
	事務局	企画財政部長、政策室長、政策室行財政改革担当主幹、政策室副主幹、政策室主査	
傍聴の可否	☒ 可・ ☐ 不可・ 一部不可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	議 題 答申案について 答申 その他		
会議結果	(1) 答申案について 前回答申案から加筆・修正した部分を説明し、意見のあった部分はさらに修正をした。 (2) 答申 新川会長から市長へ、直接答申を手渡した。 (3) その他 当審議会は、今後の行財政改革のフォローアップ機能も持っているため、次回開催は平成20年度に行うこととした。		

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
会長	<p>それでは、第6回川西市行財政審議会を始めさせていただきます。 始めに、事務局から委員の出席状況、傍聴の状況について報告をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、本日の委員の出席状況について報告させていただきます。本日は委員12名中、別所委員、吉尾委員はご欠席の連絡をいただいております、荒木委員、四谷委員は少し遅れるとの連絡をいただいております。現在、8名の委員の出席となっております。過半数を超えておりますので、本日の審議会は成立ということでご報告申しあげます。また、傍聴人は2名となっております。傍聴人の方は、審議の進行にご協力お願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。本日の審議会は定足数に達していますので、成立しているのご報告いただきました。以後、審議の進行にご協力いただきながら、進めて参りたいと思います。なお、今日は、最終の答申をとりまとめていただいて、出席いただいております市長さんに、答申を差し上げたいと考えておりますので、一つよろしくご審議をお願いしたいと思います。だいたい1時間くらいで、何とかまとまるのではないかと胸算用しておりますが、実際、議論に入ってみないと分からないところがありますが、そのくらいのつもりでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、前回皆様方いろいろなご意見をいただきまして、最終の答申案について事務局と私の方で、案文を調整せよということで、数日前にお届けするというような本当にぎりぎりの日程でしたが、何とかとりまとめをさせていただきました。この答申案につきましては、あらかじめお手元に配布させていただいて、お目通しをいただいておりますが、既に何点か委員の皆様方からご指摘をいただき、送らせていただいた案の段階では修正できていなかったものも、今日のこのお手元の最終案としては、若干の細かい文言のところがございますけれども、修正をさせていただいているところもございます。まず、私の方から、簡単に修正をした点についてご紹介させていただき、その上で委員の皆様にご確認いただき、最終案のとりまとめということにさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、お手元の「川西市行財政改革のあり方について～まちぐるみで輝かしい川市の未来を～」と題しました今回の答申案、1ページ目、表紙をめくっていただきますと、目次というのがございます。目次の7番目の下の方に「終わりに」というのがございまして、8ページということになっておりますが、中味を見ていただくと、7ページ目にこれが出ておりますので、これの修正をしておりますので、ご報告いたします。以下、重要な修正箇所について報告をさせていただきます。まず、1ページ目の6行目以降、「市民が真に求める行政サービスの選択と集中」という点、それから「新たな社会課題に的確に 대응していくことができる行政体制づくり」というふうに、どちらかというところと積極的に課題解決をしていくという姿勢を示すということで、前は「最低限のサービス維持」とか「不要不急の事務整理」とかいう、やや後ろ向きの言い方だったものをこういうふうに修正させていただきました。それから1ページ目の2の表題のところ「なぜ行財政改革が必要なのか○(マル)」となっておりましたが、ご指摘をいただきまして、○(マル)は削除をさせていただきましたので、最終案にはございません。続きまして、2ページ目でございます。2ページ目の1段落目、2段落目とございますが、特に5行目のところをご覧いただければおわかりのとおり、具体的に行財政事情、特に財政事情の厳しい状態を示すようにということで、数字を入れさせていただきました。数字の説明をこと細かにしていくと大変ですので、ここはまず、数値的なものを入れさせていただくということで、できるだけ厳しい状況というのをご理解いただける手かかりをはっきりさせるということで、数値的なものを幾つか入れさせていただいてございます。その更に数行下の基金がいつ現状で枯渇するのかということについても、平成21年度末という推計ではございますけれども、数字を入れさせていただいております。同じく2ページ目の下の方でございますけれども、03、02「まちぐるみで改革を進める仕組みの構築」というふうにありますけれども、前回、「市民を巻き込んだ」という表現について、やはりこれでは市民が中心になって市政を運営していく、市政の主役であるという視点が欠けているのではないかとご意見もいただきまして、ここにありますように、「市の全ての構成員が自主的かつ積極的に」という表現に変えさせていただいております。3ページ目は、特に重要な修正はありませんでした。4ページ目でございます。2行目から3行目にかけて、マネジメントサイクルのところ、当初、説明責任、あるいは応答責任ということで、中味が必ずしも明確ではないということでご</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
	<p>ございましたので、ここは、「分かりやすく説明をする。そして、誠実に応答する責任」という言い方をして、やや詳しく説明をさせていただいています。4ページ目の下の方、04、06「開かれた行財政運営を徹底する」ところは、いくつか重要な修正をさせていただいております。1行目から3行目にかけて、一つは、どうもこれまで透明性の高い運営が必ずしも十分にされてきてはいない。市民の皆さん方からも、これは特にこの委員会でご意見をいただいていた訳ですが、「分かり易いとはとても言えないんじゃないか」ということが、繰り返しご指摘をいただいていたところでもありました。そういう点を明確に書かせていただいたということでもあります。それから、5行目、6行目のところで、開かれた行財政運営ということで、どういう効果があるのかということ、少し追加をさせていただきました。ただ単に、市民の皆さん方に知っていただくということだけではなくて、知っていただくことで行政自体も襟を正すというところがあるだろうということで、少し補足をさせていただいております。5ページ目は大きな修正はございません。6ページ目でございます。特に真ん中ちょっと下のあたり、05、06のところ、当初「経営資源の有効活用」というふうになっていたところでもあります。「経営」という言葉に、特に強い意味を込めて、カギ括弧付きで使ったりと言うこともございまして、少し言葉の整理ということもございまして、ここでは単に「資源の有効活用」という言い方をさせていただきました。そして、資源を有効活用して、それを活かすような効率的な行政機構の実現という趣旨で、この2つをちょっと、本来であれば2つに分けてもいいかもしれませんが、一体的にこういう形で処理させていただきました。文言も、全段で「資源の有効活用」、そして後段ではそれに対応したような組織管理、組織体制づくりということを強調して、特に最後の所では、「縦割りを廃止する」ということで、これは前回、委員の方々からご指摘いただき、また、横の連携がスムーズに進むような機動的な組織体制ということで、書き加えさせていただきました。7ページ目でございます。05、08「わかりやすい広報の実践」。これも表題のところも最初、広報力とか分かりにくい表現になっていたのを、このように前回ご指摘いただき修正をさせていただいております。内容としては、特にこの05、08のところの4行目、以下、5行目、6行目のところを少し工夫をさせていただいて、特に委員の皆様方からこの行革全体を通じて、市民の皆様方が市の財政事情がいかに厳しいのかと言うことを、ほとんど実感をもってご理解をいただいている、単に厳しい、厳しいと言われていたということがあるらしいというくらいにしか、しかもそれが、市政のこと、サービスのことを考えるときに、必ずしも市民の方の頭の中には残っていないところをご指摘いただいて、まさにその財政状況をきちんと知っていただくところから、この行革というのは始まるのではないかというご意見をいただいております。その点も踏まえまして、こういう財政事情について市民が情報を得られるように工夫を、また、公会計の改革というものも踏まえた、市民の方に分かり易い広報ということ、是非、考えていただきたいということで、こういう表現の仕方しております。</p> <p>以上、極々、大ざっぱにはございますが、また、その他、細かいところは見え消しでお手元のあらかじめ送らせていただいた修正案でご覧いただいたとおりでございますけれども、私の方から簡単にご説明させていただきました。</p> <p>何かここまでのところでお気づきになられた点などございましたら、お願いします。</p>
委員	<p>前回のコメントを大変丁寧に修文していただきまして、本当にありがとうございます。会長と事務局の方のご苦勞に感謝の意を表したいと思います。</p> <p>その上で、文字の変更みたいなものですが、若干、気になった点を少し申しあげさせていただきます。ただ、反映するかどうかは会長に一任しますので、よろしく願いいたします。</p> <p>1ページの1行目のところに「景気の低迷を脱し・・・」というところを修文していただきましたが、ここ、「穏やかながら」と書いてありますが、こういう景気を表現する場合は、「緩やかな」の方がよろしいかと思っております。</p> <p>2ページ目のところで、先ほど会長のご説明がありましたとおり、いろんな数値を記入して、当市の財政状況が厳しいことを書き込まれたところですが、この第2パラグラフの2行目の「18年度決算時点の経常経費比率」と書いてあるところですが、これは「経常収支比率」ですかね？</p> <p>それから、私自身これをみて「おやっ？」と思ったのは、今までこの席で配られた資料などを拝見したのは17年度の数字で、経常収支比率が97とか実質公債比率が19とかいう悪い数値でしたが、18年度で改善したということですか？</p>

発言者 (時間)	発 言 内 容
会長	<p>そうです。</p>
委員	<p>分かりました。</p> <p>このあと、若干そういう意味からすると会長にお任してと思っておるんですけども、やっぱり経常収支比率と言われても、分かりにくいなという感じがあるだろうと思いますので、言うならば健康診断を受けて、血液検査のガンマGDPが100で大変厳しいですよと言われても、ガンマGDPが何なのか、100という数字がいかほど悪いのか分からなければ、何を言っているのか分からないというところがありますので、あとはお任せ致しますけれども、全国の市町村の平均と比べても、あるいは類似団体と比べても、かなり厳しい状態にあるという狙いをもし補えられたら感じが分かるかなという気が致しました。</p> <p>同様の意味で0301のプライマリーバランスというの、今よく国の財政でも使っておりますけれども、あんまり分かったようで分からない、実は数字ですので、中として括弧して財政の基礎とは書いてあるんですけども、借金以外の歳入イコール元利金の支払い以外の歳出とかいうのがプライマリーバランスということになるのでしょうか。もし、可能であれば、注が書き直せたらそちらの方が分かりやすいかなという気が致しました。</p> <p>最後に3ページのところで、0403のところですけども、成果主義を基本としというタイトルですが、今成果主義というどちらかという人事評価のシステムとして年功序列だとか、そういうのを止めて成果主義にしようという文脈で使うことが多いような気がするんですけども。ここは、どちらかという成果を重視しよう、その程度の感じだと思うんですが読んでみると。あまり主義という言葉をもし使わない方が、いかなと個人的に致しましたもので、そんなふうにもし表現が直せたらという感じが致します。</p> <p>いずれも細かい話しなので、修文するかはお任せ致します。</p>
会長	<p>最後の成果主義については、民間企業の場合と、行政で成果主義というふうにする場合と、若干ニュアンスが違っているように思います。特にニューパブリックマネジメントという役所の改革の議論の中でこの成果主義という言葉は割とよく使われてきて、いろんな政策の結果であるとか、事業の成果であるとか、そういうものを中心にこれからの行政運営をしていかなければならない。というような趣旨で、成果主義という言葉が使われてきた経緯はございます。</p>
委員	<p>そうすれば対比する概念として、予算主義ということですか。</p>
会長	<p>そういうことです。予算主義あるいは事前統制主義、例えば法律とか予算をあらかじめ作って、そこで統制するという考え方ではなくて、評価をしてその結果に基づいて行政を管理しよう、という趣旨の考え方がこの10年くらいようやく入ってきたところではございます。</p> <p>その他いかがでございましょうか。</p>
会長	<p>今、委員からご指摘のありました一つは漢字問題ですので、「穏やか」を「緩やか」というようにご指摘の通りのちほど修正をさせていただくということで、処理をさせていただきたいと思います。</p> <p>また、2ページ目の5行目の「経常経費比率」は「経常収支比率」の間違えでございませう。これは誤字ということで処理をさせていただきたいと思います。それから括弧書きで説明を加えるというのは、工夫が必要ですので、のちほど最終バージョンは作らせていただきますけれども、取りあえずは現状このままをお願いをさせていただくことにして、括弧書きで詳しい説明をのちほどこういう用語についてはそれぞれ、他にも幾つかございませうので、付け加えさせていただくということで、これはあくまでも参考までという、理解をしやすくするための用語の解説という趣旨で括弧書きのものを幾つか付け加えるということで、あらかじめ今日の段階ではご理解をいただくということでよろしゅうございませうでしょうか。</p> <p>3ページ目の成果主義は、ご指摘はその通りで理解はできるんですけども、基本的にはこれで構わないかなということではございませう。</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
会長	<p>その他何か。</p> <p>それではご意見をいただきました点、最終直さないといけないところも、また若干説明の追加等も出て参りますけれども、審議会の骨子といいますか、文言も含めて、今日の段階で固めさせていただきということで、よろしゅうございますでしょうか。</p> <p>それでは以上のご審議を経まして、お手元の案では少し修正を入れていただいておりますが、その修正を入れていただいたものを、私どもの本答申として市長さんに答申をさせていただきますと思います。</p> <p>それでは事務局の方、準備はよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>今いただきました修正部分を、修正して持ってくるというようなことでございます。少しお待ちをいただけたらと思います。</p> <p>修正が出てくるまで一言だけ、本当にこの間短い期間に詰めた議論をしていただき、必ずしも委員の皆様方にとって親切な進め方だったかなと、真摯に反省をしているところはございます。</p> <p>こういう行政の問題、あるいは自治財政の問題に多様なりとも、なにがしか関わりがあったり、ご理解があったりというような方は別にして、突然こういう行財政改革のような、やや技術的な専門的な特有な用語そのものからしてものそうなんです、こういう分野について極めて短時間に短期間に集中的にご審議をいただいて、こういう答申をまとめるというはこういう作業にお加わりいただいて、大変ありがたい感じると同時に、大変申し訳なく思っております。</p> <p>本来であれば、別に事務局批判をしている訳では無いのですが、もっとしっかりと時間をとって、共通の理解を時間を掛けて作りながら一緒に考えていく。そういうプロセスが、無いと難しいかなというふうに思っていたところもありました。特にこの6回のうちの前半の3回ぐらいは、なかなか大変だなと思いつつ来ているところがありました。ただ、後半、前回、あるいは前々回辺りから委員の皆様方のそれぞれのご発言、それぞれが思い起こしていただければおわかりのとおり、この回の中の途中ぐらいからは、随分と勘所がつかめてきた。そういうところがありまして、いい意見がどんどん出てくる。また、この答申に向けての各委員さん方からのメモをいただいた段階で、おかげさまでこの答申の骨子が一定方向付けが具体的にできるというそういう段階にまでご意見をそれぞれにいただくということができて、あそこが一つ大きな山場だったかなと、個人的には大変感謝しながら思い起こしております。</p> <p>私自身もこの行財政改革にいろいろお手伝いをさせていただいておりますが、それぞれの地域の特徴、それぞれのまちの風土といいますか、家風とでも言うんでしょうか、そういうものがあって、一律のどうこうということはないのですけれども、川西の場合にはやはり市民の皆様方を先ずはベースにして物事を考えるという、そういう審議のあり方、とりわけこの行革というような問題についても、単に技術的な問題だけではない市民的な視点ということで、進めていただいたということの価値というのは非常に大きかったのではないというふうに思っております。</p> <p>おかげさまで答申本文の中でも、皆さん方の意見がたくさん入っている訳ですが、その中でも川西市のこのまちの特徴というのを踏まえた表現というのも諸処に見られます。どうしても行革というのは、それ自体は全国ほぼ共通した項目というのを持たざるを得ない訳ですが、もう一方では皆様方のおかげをもちまして、非常にまちの特徴というのを踏まえた答申案を作成することができたということで、改めて深く感謝をする次第でございます。</p> <p>というところで、用意はできましたでしょうか。</p>
事務局	<p>会長をはじめ、委員の方々におかれましては、会長のお言葉にもありましたが、大変ハードなスケジュールの中でご審議を賜りどうもありがとうございました。</p> <p>市長への答申に先立ちまして、答申書の鑑に審議会を代表致しまして、新川会長の方にご署名をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>(会長署名)</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
事務局	<p>どうもありがとうございました。それではただ今から、川西市行財政改革審議会において、ご審議いただきました「川西市行財政改革のあり方について」を市長に答申していただきたいと思っております。</p> <p>事務局の方で誘導致します。よろしくお願い致します。</p>
会長	<p>川西市長、大塩民生様 川西市行財政改革のあり方について（答申） 平成19年7月23日付けで諮問されましたこの川西市行財政改革のあり方につきまして、熱心かつ慎重に一同審議して参りました。その結果を取りまとめましたので答申を申し上げます。これに基づきましてより良い川西のまちづくりを進めていただきますようお願いいたします。</p>
市長	<p>どうもありがとうございました。ご苦勞様でございました。</p>
事務局	<p>それではここで市長の方から、審議会委員の皆様方に対しましてご挨拶がございます。市長、よろしくお願い致します。</p>
市長	<p>皆さん、改めましてこんばんは。市長の大塩でございます。</p> <p>今、先程、新川会長さんから答申をいただいた訳でございます。先ほど会長のあいさつの中にもございましたけれども、7月23日から第1回の審議会をさせていただいたということで、その時に諮問させていただいた訳でございますけれども、本日に至りますまで、本当に短期間でございました。かなりハードなことを申したと思っております。皆さん方におかれましては大変お忙しい中、いろんな意見をおっしゃっていただき、中身の濃い議論をしていただいたと伺っております。委員の皆様方には本当にありがとうございました。改めて厚くお礼を申しあるところでございます。</p> <p>審議の途上で、事務局の方からも報告をさせていただいたこともあろうかと思っておりますけれども、私どもも庁内におきまして、この同じ事務局の担当ではございますけれども、行政経営改革を進めるにあたりまして、庁内に4つのプロジェクトチームを作っておるところでございます。この9月20日に中間報告を受けたというところでございます。</p> <p>そういう中でいろんな事をプロジェクトチームでやっていただいておりますけれども、とりわけ皆さん方にお世話になりました事務事業の見直しにつきましては、今現在、各担当においてそれぞれ検討を進めておるところでございます。そういう検討を進めておる中で、皆さん方に答申をまとめていただきまして、そういう結果を反映して行きたい、そのように思っております。これから行財政改革の大綱及び行動計画、そういうふうなことの策定に繋げていくという事でございますので、そういうことも含めまして進めていく中で、本日いただいた事について考えていきたいというふうに思っております。</p> <p>途中報告でございますけれども、皆さんの意見を聞かさせていただく中で、行財政改革は当然必要なことでございますけれども、先ほど会長さんとお話をする機会があった訳ですけれども、もちろん歳出のカットは当然必要な時期に来ておるとは思いますが、単にカットするだけではなくて、歳入の増という事も、やはりまちの特徴、元気を出していくには必要なことではないかと意見を聞いたように思っております。また見直す中で、今までは何でもかんでも公にやらすべきだという意見もあったように思いますが、そうではなくて、やっぱり時代の流れからすれば小さな政府、そういう中では今まで公の仕事としておったものも、市民の皆さんと協調してやっていくべきではないかというふうに意見も出ておったというふうにもお聴きしております。先ほど皆さん方のお話しをお聞かせいただく中で、市の財政情報をもっと、市民の皆さん方に本当の事実を知っていただく必要があるのではないかと、そういうふうな努力もするべきだというふうな声をいただいたように思います。先ほど来言います資産の活用とか、そういうふうなこともしっかりとしていくべきではないかというふうにアドバイスをいただいたというふうに思います。</p> <p>私も本当に正しく、そのとおりというふうに思います。これからいかにこれを実践していくか、それが最も大きな課題だというふうに思っておりますけれども、先ほども申し上げておりますけれども、政策室等の中でいろいろ議論をしておりますので、今後5か年にわたります基本計画をただいま作成をしておるところでございます。協働参画の職員プロ</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
会長	<p>ジェクトチームによりまして、そういうことも進めていきたい、そのように思っているところでございます。</p> <p>皆様方からいろいろいただいたご意見につきまして、またいろんなご指摘をいただいておりますというふうに思います。先ほどから同じようなことを申しますけれども、それをより具現化、具体化していくのが我々の勤めだと思っておりますので、是非これから参考にさせていただきますと思います。</p> <p>7月23日から本当に強行なスケジュールだったと思います。本当にありがとうございます。</p> <p>最後にあたりまして、これからもいろんな意味で、市政につきまして皆さん方から温かい励まし、そしてまた厳しい意見も賜ることによって、皆も成長していくと思っておりますので、是非これからも、今日でこの会は終わりかもしれないかもしれませんが、いろいろまたご示唆賜りますことをお願いしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>皆さんどうもご苦労様でございました。ただ今市長さんにお渡しを致しました答申につきましては、たぶん事務局の方でのちほど最終版をお作りいて、ただ説明文が入った最終版はこれからということでございます。それは改めてお送りをするということにしたいと思っております。</p> <p>ともかく無事なんとか次の公務までの間に答申を行うことができました。ありがとうございました。なんとか無事にご協力をいただいた結果、何とかお役目を果たさせていただきました。本当にありがとうございました。</p> <p>先ほどもお話しをしましたがけれども、なかなか難しいこういう作業にここまでおつきあいをいただき、積極的にご意見をいただいて、本当にいい審議会になったと実感しております。</p> <p>もちろんこれが終わりではなくて、この答申を今後市としてどういうふうにかこれを受け止めて、そして様々な改革に結びつけていくのか、そして市の行財政の体質や、あるいは今後のいろんな政策展開がこの行革をベースにして、しっかりと大きな成果を出していけるようなものになっていくのか。この辺りは今後の課題でもあります。私たちはそのための重要な手がかりを差し上げているというふうに自分たち自身で考えたいと思っておりますし、その作業をこの委員メンバー皆さんと一緒にやり遂げたという達成感も共有できるはずというふうに思っております。</p> <p>一応お役目が終わったので、少しほっとしておりますけれども、もう一つ次第の議題がございます。その他というところがございますが、今後のことというふうには聞いてはおりますが、その他についてご説明の方をよろしくお願い致します。</p>
会長	<p>少し今後のことについてのご説明をさせていただきます。会長の方からもご案内がありましたように、これでこの審議会を閉じるということではなくして、冒頭にもご説明、ご案内しましたように、我々が実際にいただいた答申を執行しているのか、いわゆるフォローアップしていただくような機能を当審議会に持たしているということでございますので、引き続きその辺り一緒に検証していただきたいと思っております。</p> <p>具体にはこの答申を基に先ほど市長からご説明しましたが、行政の方で具体的な計画を作っていきたいと考えております。</p> <p>また、新年度に入りましたら策定しました行財政改革に係る計画のご説明を兼ねまして、この審議会でご説明を致したいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>よく言われますけれども、この答申が終わりではなくて、この答申が始まりと我々を引き締めております。今後5年間の行財政改革につきまして、本審議会の各委員さんにつきましても一緒になって考えていただき、また、一緒になって実行していただければ幸いかなと考えております。</p> <p>活動の詳細につきましては、現時点においては決めておりませんが、決まり次第逐次情報をご提供を申し上げたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。事務局からは以上でございます。</p>
会長	<p>答申は出しましたが、この審議会としてはこれで終わりではなくて、答申をさせていただきましたその内容、期間中は、それが終わるまでは、委員の皆様方には、責任を持って</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
	<p>ということでございますので、一つよろしくお願をします。</p> <p>これは同時に答申を出して棚上げでおしまいにならないようにそういう趣旨が込められているのではないかと考えております。先ずは答申をした私達自身が自らの責任で、その行方をきちんと見ておく責任もあろうかと思ひます。もちろん諮問をし、答申を受けた側はできるだけ着実に実現をしていっていただく責任は有るわけですが、私たちもしっかりとチェックし、場合によってはしっかりと応援をしていく、そういう役割もあろうかと思ひます。またこういう場を通じて、市民の皆様方にもこの答申がどういう結果を生み、改革がどういうふうに進んでいくのか、その節目節目でわかりやすい行革の進め方ということについて、公表、広報していく際の一つのチャンネルと言ひますか、この審議会を通じてご報告や、この審議会の活動を通じての様々なご発言等々が、多くの市民の方々にとっての市の行革の進み方についての理解の手がかり、そんなことになってくれれば一番いいなと思ひます。</p> <p>もちろんここまで詰めてやってきたような、ガチガチとしたギチギチとした議論というのは、これからはそう無いと思ひますし、年度当初か年度末にお会いをすうるほうが、そういう機会が中心になろうかと思ひますけれども、それに致しましても間は開きますが、今後ともしっかりと川西の行財政運営に関心を持って見ていただき、私たちが苦勞して作りました答申がどんなふうにご具体化されていくのか、しっかりと監視をしていっていただければというふうに思ひます。</p> <p>そして、時々それぞれがお感じになっているところをお寄せをいただき、この市の行財政の運営、改善について忌憚のないご意見をいただきながら、より良い川西市政に向かつていくような、そういう役割を皆様になっていくような、それぞれにまたこの審議会としても果たしていければと思ひます。</p> <p>本当に7月からほんのわずかな3か月弱の期間の中でここまでの作業をご一緒させていただきまして本当にご苦勞さまでした。そして、ありがとうございました。</p> <p>本日は以上をもちまして閉会ということにさせていただきますと思ひます。</p> <p>1時間と言ひておりましたが、45分ぐらいで終わりそうなので、最後にこのまま終わってしまいますとちょっと心残り、今日は一言も言わないのかということもありそうですので、もしよろしければ一言これまでのご感想を含めておっしゃっていただければと思ひますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>3か月弱ご一緒させていただきましてありがとうございました。感想を一言だけ申し上げさせていただきますと、事務局の方の潜在能力がものすごい高いと思ひました。何かお伺いしてもすぐに回答が来ますし、資料もきっちりと揃えていただきましたし、それをもっとみんなアピールして、ものすごい能力が高いのだから、もっともっと活用されて、もっと良い改革をお願いしたいと思ひます。</p>
委員	<p>大変短い期間に精力的に答申をまとめることが出来て、会長や委員の皆さんお疲れ様でしたという感じがいたします。この答申を拝見しましたら、P-D-C-Aという考え方は、川西市は先駆的だということが書いてありまして、是非先駆的な経験のあるP-D-C-Aの考え方で、この答申を実現して行っていただければなと思ひます。</p>
委員	<p>僕は企業でずっと働いてきましたので、こんなにしっかりと緩やかにまとまるんだなと非常にびっくりしました。もっと企業はギスギスしていますので、その辺を短期間の間に皆さんから出たこういうように意見をまとめる能力というのは、先ほどおっしゃってましたようにたいしたもんだなと思ひます。是非ともうちの会社で働いてもらったというくらいです。こういうまとめ方をしていったら、働いている人間がもう少し気がよく働けるかなと思ひましたので、是非とも参考にしながら、今後働けていけたらなと思ひました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>最初に受けた時にどういうものかわからないままに受けてしまって、1回目はどうしようかと思ひたんですけれども、色々読んでいくうちに、自分自身も勉強になったし、川西市のこともよくわかって、これからは川西市にずっと住んでいくので、もっとすばらしい川西市ができていったらいいなというふうに感じました。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

審 議 経 過

発言者 (時間)	発 言 内 容
委員	<p>短い期間でしたが、皆さんありがとうございました。職員の皆さん方も一から十まで詳細に記録を取っていらして、すばらしいと改めて感心しております。</p> <p>一主婦ですけれども、話の内容を聞いても難しく、だいたい井戸端会議的な考え方が多いんですね。女の方は。出させていただいて、一歩も二歩も中に入って物事をしっかりと捕らえていくという、川西が他の所より進んで取り組んでいるという事はいいことだと思いますし、若い方も次から次へと出ていらっしゃると思いますけれども、老骨にむちを打って勉強させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>障害者連合団体と言いまして障害者団体の代表ということで参画させていただきますした。カット、カットばかりでなくて、もっと財政の確保という面でいろいろ申し上げまして、行財政改革については暖かく、また厳しくお願ひしたいということを考えました。いろいろご無理を申し上げまして、事務局の方にもありがとうございました。</p> <p>教育・福祉とお金があることばかりでございますけれども、やはりもう少し考えないといけないなど、改めて思ったところでございます。福祉、障害者団体はお金もいりませけれども、温かい心で見させていただきたいと思ひます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
会長	<p>カット、カットばかりではなくて、しっかりとサービスの質を上げよ。また、やり甲斐をもって働けるような、そういう市役所にしていけないといけないという話もいただいて、なかなかストレートには書けませんでした、多少そういうニュアンスで答申はさせていただけたかなと。他の委員さん方からも将来に希望が膨らむような、そういう改革をしないと誰も真剣に取り上げてくれないよと、そんなご指摘もいただいて、従来の行革の答申とは少しトーンが違ってきたのかなと思ひているところです。ありがとうございました。</p>
委員	<p>本当に短期間の間に各委員さんの間からいろんな意見が出まして、私も辛辣な意見を申しましたが、今日の答申を見まして、新川会長さんの穏和な性格そのままにこの答申書が出ておると。だが、中には厳しい意見も出ておると、大変感謝しております。私も七十有余年、川西の小花で生まれ育って、人一倍川西には愛着があります。</p> <p>今までいろんな審議会に出ていますが、終わればこれで終わり、今回については5年間審議する中で、その審議事項について逐一報告をさせていただくと言う行政の姿勢も見えましたし、これは一つ前進かなと。大塩市長に代わりまして、年功序列じゃなしに、今の若手登用ということでそれこそ本当に先ほどおっしゃったような方々が今こうやって事務局をやっているというので、これから一つ期待をしますとともに、職員間の融和も図っていただいて、やっていただくということが一番大事なことではないかなと。横の連絡が無かったら、縦割りではどうにもならないので、ただし、若手を登用するとねたましく思ひ人もおると、何とかやっていただきたい。</p> <p>また、4つのグループに分けて行革推進をやっておるとのことですので、そういう結果もまた、皆さん方に報告するというのでございますので、期待と胸がわくわくしておりますので、今後とも一つ事務局もよろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>短い間でしたけれども、皆さん本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。皆さんの熱心なご議論のおかげ、また事務局の力、また新川会長の司会進行のおかげでいい答申が出来たのではないかなと思ひしております。これで答申が出てしまいましたけれども、前回は空白であった副題を何もさわらなかつたんですけれども、「まちづくりで輝かしい未来を」ということで、新川会長のセンスが光るいい副題が決まったかなと思ひました。地方分権社会が来る中で、それに適した副題になっているのじゃないかなというふうに思ひます。こちら未来というふうに書かれておりますけれども、会議でも言ひましたように、未来の期間を行政改革の5年後というスパンではなくて、もっと長い間でのスパンでの未来を見据えたような形で、改革を進めていただければというふうに思ひます。</p> <p>川西の市民力がすごいあるということも知っておりますし、そして行政のパワーも皆さんお感じになられたと思ひますので、本当にまちぐるみで、行政と市民の力で輝かしい川西に未来を築いていただければなと心から願ひしております。</p> <p>以上です。本当にありがとうございました。</p>

審 議 経 過

No. 9

発言者 (時間)	発 言 内 容
会長	<p>本当に委員の皆様方、ありがとうございました。事務局にもいろいろご厄介をおかけし、あれをしろこれをしろうるさく申し上げまして、本当に紳士の取り組んでいただき、熱心に、良い最後の答申になるまでのご努力をいただきました。本当に事務局の皆さん、ご苦勞様でございました。</p> <p>それからこの最終回にもお二人の傍聴の方がいらしていただきました。最後までお付き合いをいただきまして、本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。</p> <p>この次はおそらく来年の3月か、次の年度当初か、今後の具体的な計画案はでき方次第ということもあろうかと思いますが、おそらくその辺りが皆さん方ともう一度お会いをして、実際にこの答申がどういうふうに形整えてられていくのかということを改めて拝見をさせていただき、また議論する機会も持てるかと思っております。</p> <p>またお会いしましょうということで、今日は散会とさせていただきます。</p> <p>どうも長い時間ご苦勞様でした。</p>